

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-8586

住 所 川崎市川崎区小川町1番地

氏 名 株式会社 さいか屋 印

代表取締役 岡本 洋三

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社さいか屋		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区小川町1番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業種 の業	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業容 の内	販売業務		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,744 kJ
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名	さいか屋川崎店業務統括グループ
		所在地	川崎市川崎区小川町1番地
	電話番号		044-246-3222
	FAX番号		044-222-6124
	メールアドレス		k-gyoumu4@saikaya.co.jp

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

計画期間	平成22年度～平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	・店内以外の冷暖房の設定温度の推奨値への変更・執務時間外における消灯の徹底・業務の効率化に伴い時間外労働時間を極力削減し、エネルギーの削減を図る。詳細は、指針様式第1号様式（第4、5面）のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	廃棄物の減量化・分別化の推進。詳細は、指針様式第1号（第6面）のとおり。
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1 事業全体基本方針

地球温暖化対策に関する取組を行い、継続的に対策を推進します。

2 市内事業所の基本方針

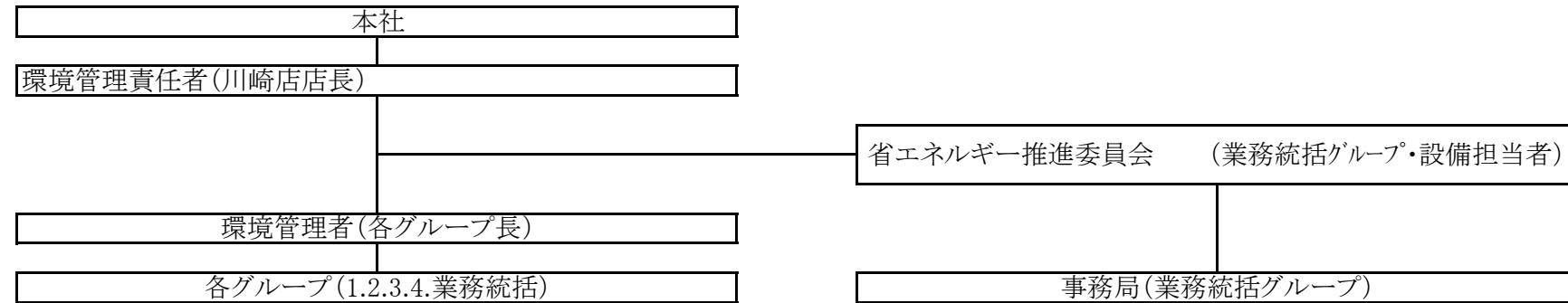
計画期間に事業活動地球温暖化対策指針にある基本対策メニューをすべて実施します。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙にて記載

別紙

【温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制】



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基 準 年 度	平成21 年度	目 標 年 度	平成24 年度
基 準 排 出 量	(実) 4,604 t-CO ₂ (調) 3,668	目 標 排 出 量	(実) 4,305 t-CO ₂
削 減 率	(実) 6.5 %	削 減 量	(実) 299 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原 単 位 の 活 動 量		單 位	
基 準 年 度 の 値		目 標 年 度 の 値	
削 減 率	%		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

弊社では、計画期間（平成22年度～平成24年度の三年間）において排出される二酸化炭素排出量削減に努めると共にエネルギー使用量を毎年1%削減していくことを目標に設定し削減対策に取り組んで行きます。また川崎市内の本社機関を統合することにより排出量を削減し、合わせて6.5%を目標とします。電気量の節電などの省エネ対策を徹底し、設備機器の更新時には効率的機器の導入を進めていく計画を予定しています。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第1号、第2号、第4号該当者等)	○体制の整備 事業所間の情報交換を行います。 ○事務所等の空気調和の管理 各事務所のエアコンの冷暖房を緩和します。全部門のクールビズの推進をします。 ○照明設備 必要以上の照明設備を撤去します。 バックヤード及び不在時の不要な照明の消灯をします。 ○昇降機 時間帯により休止 近い階への移動時の階段の利用(2UP & 3DOWN)します。 ○事務用機器 後方部門中心に休憩時や不要時のパソコンの電源をOFFにするなど、待機電力の削減に取り組みます。
自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第3号該当者等)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

当ビルにおいて、使用可能な再生可能エネルギー源を利用できるのか検討を行っていきたい。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

○体制の整備 事業所間の情報交換を行う。 ○事務所等の空気調和の管理 各事務所のエアコンの温度を緩和する。後方部門のクールビズ、ウォームビズの推進 ○事務用機器 後方部門中に休憩時や不要時のパソコンの電源をOFF

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。外出・出張の際の公共交通機関の推奨

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,604	t-CO ₂
(調)	3,668	

イ 第3号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位 (第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
さいか屋川崎店	川崎市川崎区小川町1番地	5611	百貨店・総合スーパー	4,438 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	1
100k1 未満	

(3) 事業所等単位 (第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したもの) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したもの) の事業所の数

事業所数